

## 令和4年度 名古屋港管理組合 公共事業評価委員会の開催結果について

中川運河プロムナード緑地の事業評価を実施するため、第3者の意見を求める「名古屋港管理組合公共事業評価委員会」を下記の通り開催しました。

1 開催日時：令和5年3月9日（木）14時00分～14時50分

2 開催方式：WEB会議

[事務局：名古屋港管理組合 本庁舎10階 入札室]

3 出席者（委員3名全員出席）

委員長 秀島 栄三 （名古屋工業大学大学院 教授）

委員 内田 俊宏 （中京大学 客員教授）

委員 西脇 明典 （西脇法律事務所 弁護士）

傍聴者（1名）

4 議題

社会資本総合整備計画に係る事前評価について

・中川運河プロムナード緑地

5 結果

・事業を開始するという対応方針（案）について了承。

## 6 主な質疑と回答

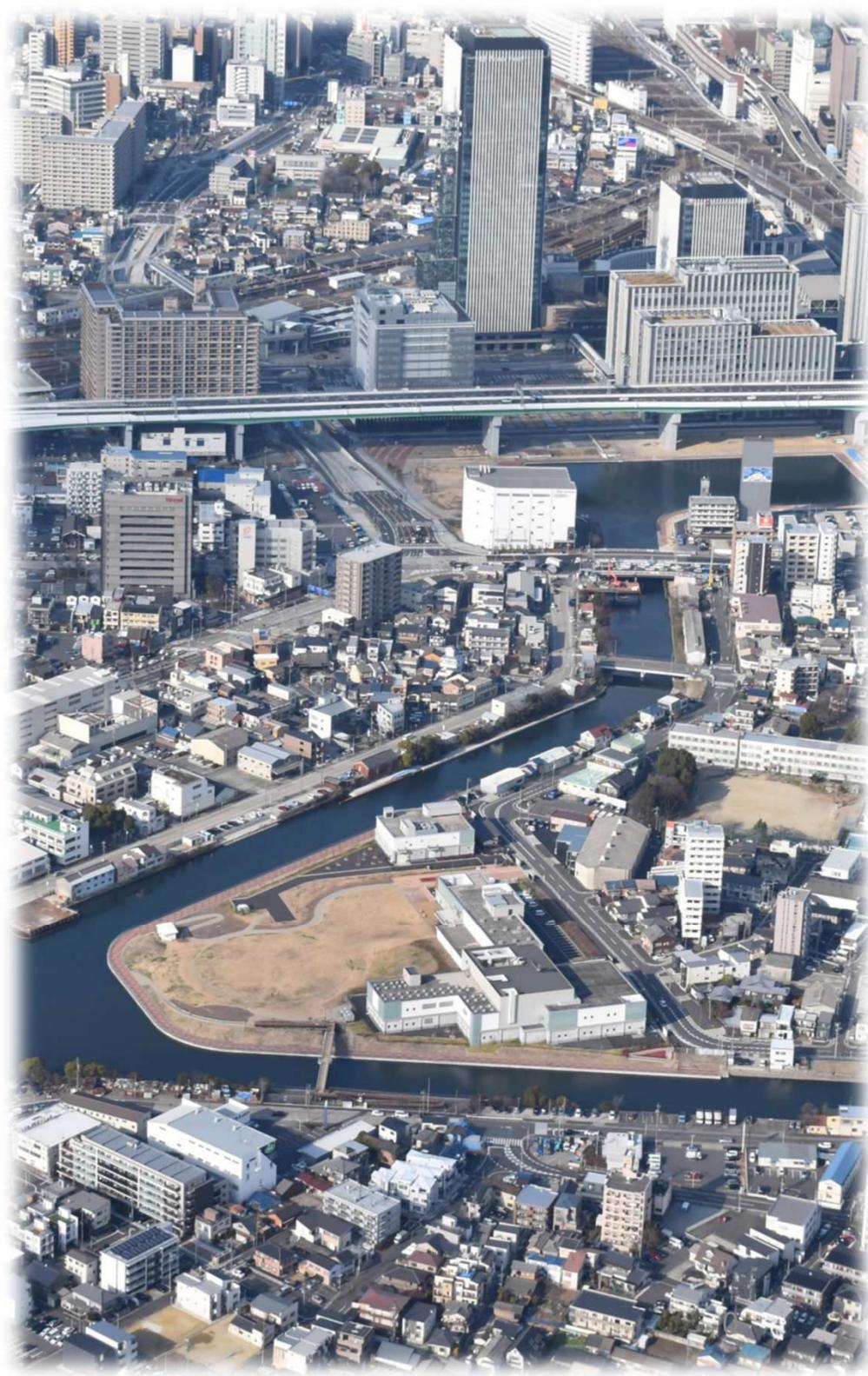
意見・質問	回答
<p>距離圏別の支払意思額や整備後利用率等の整理項目について連動性は確保されているのか。また、便益が過大にならないようどのような処理をしているのか。</p>	<p>今回はまずプレアンケートを実施し、距離圏別の支払意思額や整備後利用率等を整理している。その結果を基に受益範囲等を設定して、本アンケートを実施することで便益が過大にならないようにしている。</p>
<p>名古屋は自動車を移動手段とする人が多いと考えられるが、自動車での来訪をどのように考えているのか。</p>	<p>にぎわいゾーンは名古屋駅やささしまライブに近く、遠方からも様々な手段で人々が訪れるポテンシャルを有する。リニアの開業を見据え、名古屋駅やささしまライブを含む周辺地域のにぎわい創出が加速し、更なるにぎわい施設の誘導が行われることで、自動車による来訪者への対応も拡大するのではないかと期待しており、名古屋市や民間事業者と連携してにぎわい創出を図っていきたい。</p>
<p>プロムナードは交通ネットワークであり、整備するにつれて費用便益比は変化する。費用便益分析を行って十分ということで終わることなく、より良いプロムナードを整備するということをお願いしたい。</p>	<p>了解した。</p>

# 名古屋港管理組合 公共事業評価委員会

中川運河プロムナード緑地  
事前評価（案） 説明資料

名古屋港管理組合  
建設部 事業推進課

令和5年3月9日



## <本委員会の目的>

本組合では、「港湾関係補助金等交付規則実施要領」及び「社会資本整備総合交付金交付要綱」に基づいて実施している公共事業のうち、**事業評価が必要となる事業等**について、**評価の透明性、客観性および公正さを確保するため、第三者の意見を求める機関**として、「**名古屋港管理組合公共事業評価委員会**」を設置している。

## <今回の対象事業>

現在、当組合において計画している**中川運河プロムナード緑地**について、整備計画の効果を確認し、**今後の対応方針を決定するため、本委員会へ意見を伺う**ものである。

# 1-1 中川運河プロムナード緑地の概要

## ■整備目的

本事業は「にぎわいゾーン」の中で整備効果が高い北支線左岸の堀止～広見憩いの杜間において**運河の魅力と回遊性を高める**ことで、地域全体の魅力向上につながるよう、緑地・プロムナードを整備するものである。

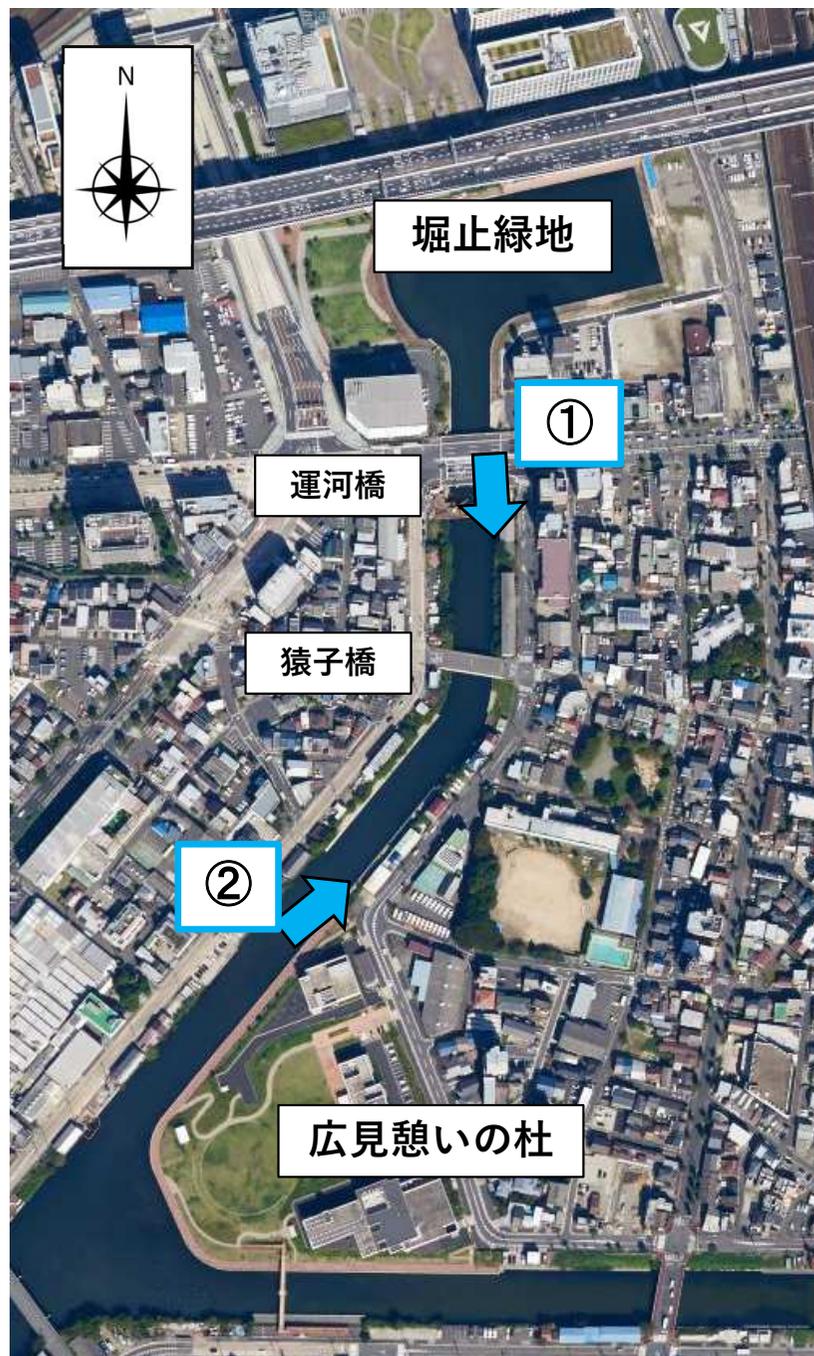
**整備内容** : プロムナード緑地 約340m

**事業期間** : 令和5年度～令和9年度

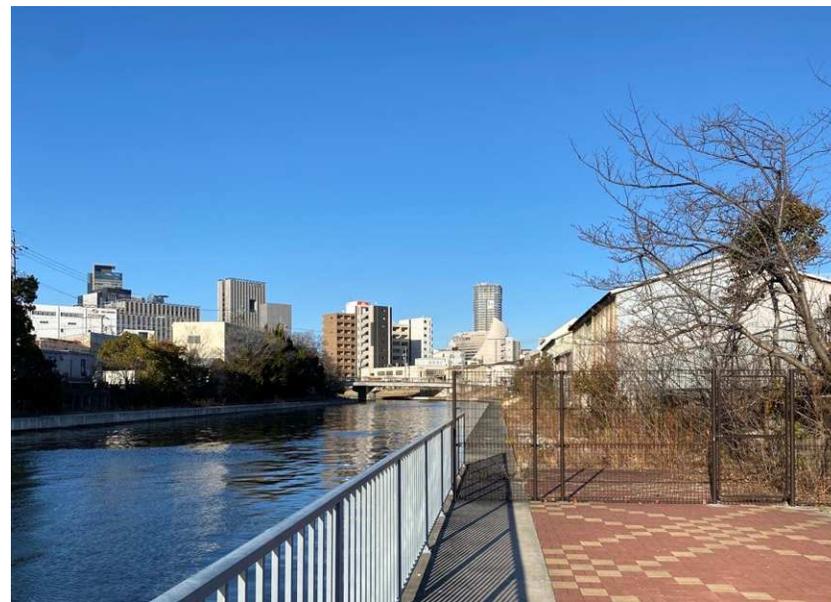
**事業費** : 2.5億円



# 1-2 整備予定地の状況



①運河橋より南方向



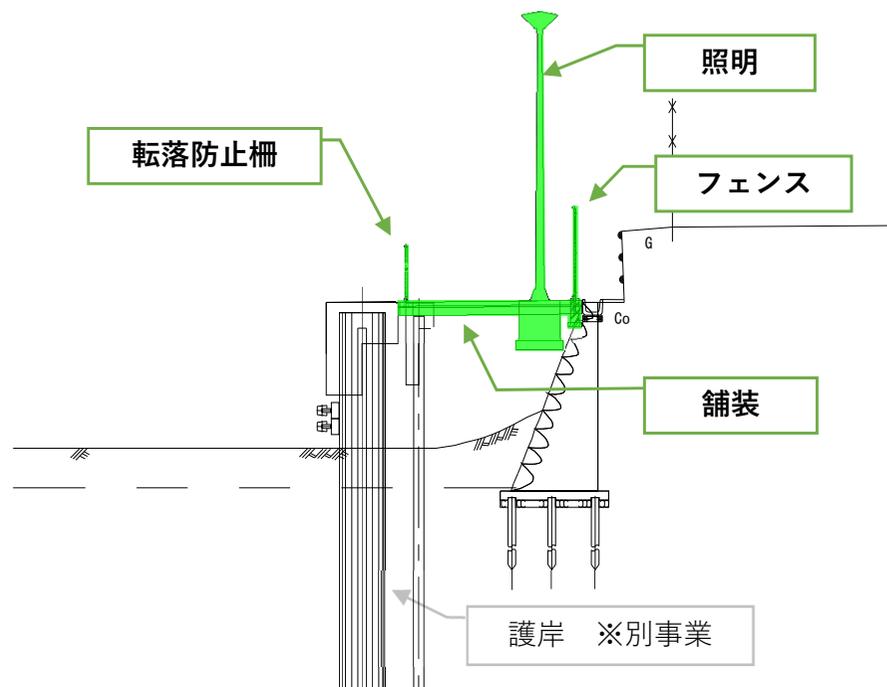
②広見憩いの杜より北方向

# 1-3 事業スケジュールと整備内容

## ■事業スケジュール

項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
プロムナード緑地	設計	■				
	緑地整備		■	■	■	■

## ■整備内容



想定断面図

○上物整備（舗装、転落防止柵等）

→中川運河プロムナード緑地

※社会資本整備総合交付金

○下物整備（護岸） ※別事業

→中川運河 運河改良事業

※港湾メンテナンス（港湾改修費補助）事業  
事業費：750百万円

## 2 事業実施による便益

本事業により新たに創出され、魅力ある水辺空間の整備効果（便益）について  
周辺地域環境の改善効果に対する便益をCVMにより定量的に算出する。



整備イメージ

- ・ CVM（仮想的市場評価法）  
プロムナードの整備により地域環境が向上することで地域住民が支払ってもよい金額（**支払意思額**）を求め、便益を算出

## 3-1 費用対効果分析の流れ

- ① 支払意思額の上限金額、本アンケート集計範囲の設定  
・プレアンケート調査(WEB)

② 周辺地域環境の改善効果に対する便益の計測【CVM】

- ・本アンケート調査(WEB)
- ・効果に対する1世帯当たりの支払意思額の算出
- ・便益の計測

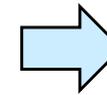
便益 = 1世帯当たりの支払意思額 × 需要（港湾緑地背後地域に  
居住する住民（世帯数））

③ 費用対効果分析(B/C)

## 3-2 支払意思額の上限金額、本アンケート集計範囲の設定

CVMにおける本アンケート集計範囲→**受益範囲**

CVM：**支払意思額の上限金額、受益範囲**の設定



結果に大きく影響

**対象圏域を15～20kmに仮設定し、プレアンケート調査(WEB)を実施**

※対象圏域は既往文献および研究成果を参考に設定した。

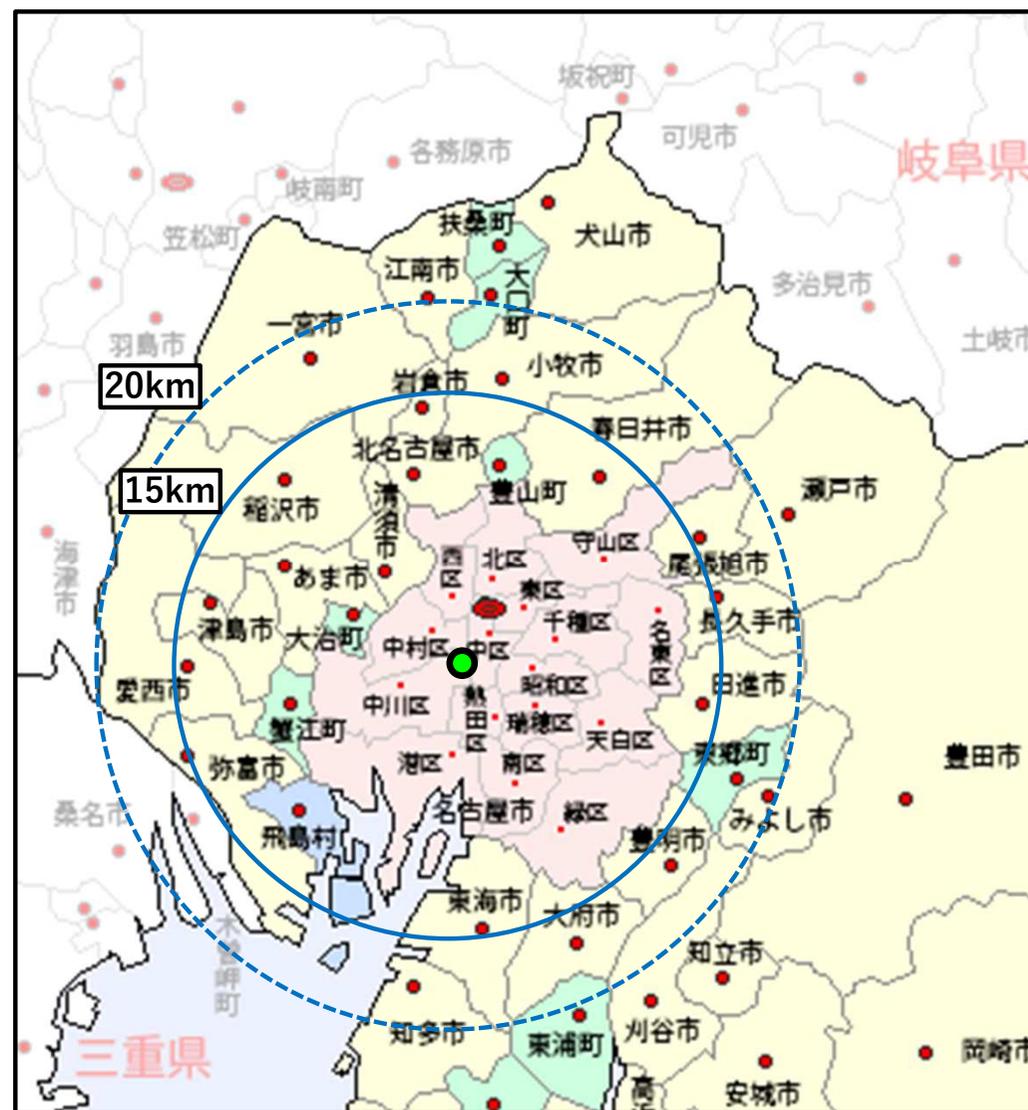
# 4 プレアンケート調査結果

## ■プレアンケート調査対象地域

対象地域：19市町村

## ■プレアンケート調査概要

項目	実施結果概要等
実施手法	WEBアンケート
実施期間	令和4年9月2日～9月5日
回収結果①	668票
有効回答数②	381票
有効回答率 ②/①	57.0%



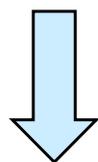
● 整備予定地

プレアンケート調査対象地域

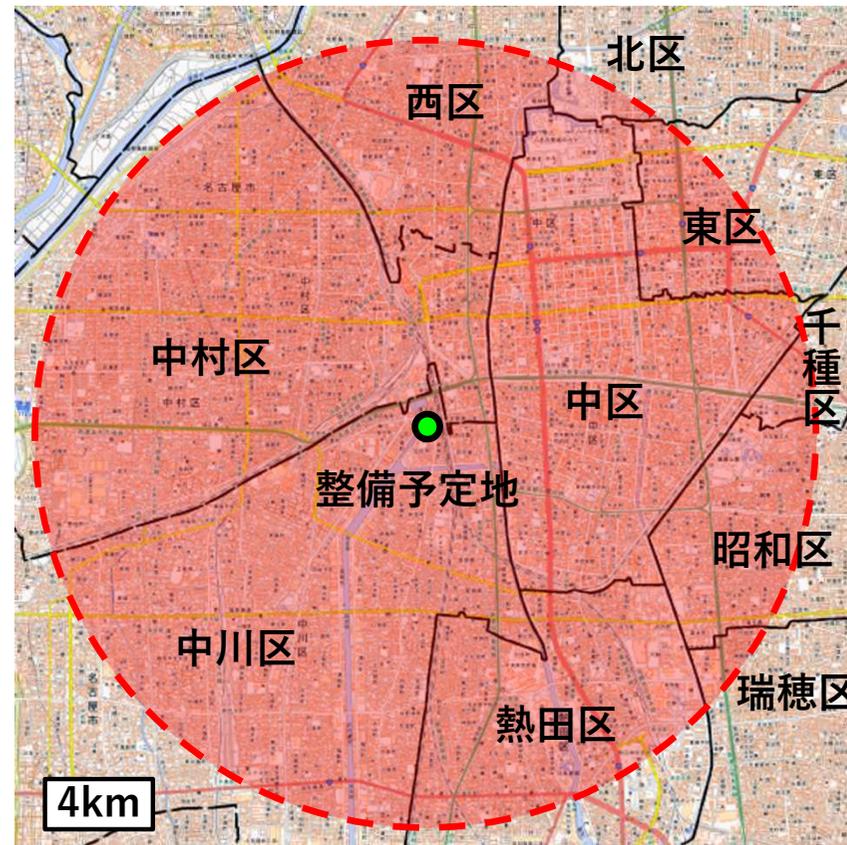
# 4 プレアンケート調査結果 (受益範囲の設定)

## ■ゾーン別アンケート整理結果

距離圏	支払意思額	整備後利用率	整備後利用頻度	事業認知度	事業重要度
0-2km	380円/月	81.1%	9.2回/年	52.9%	17.6%
2-4km	208円/月	94.1%	17.3回/年	27.0%	29.7%
4-6km	192円/月	87.5%	15.0回/年	29.4%	11.8%



整備予定地を中心とした半径4kmを受益範囲に設定



● 整備予定地 ■ 半径4km受益範囲

CVMにおける受益範囲

# 4 プレアンケート調査結果(支払意思額の設定)

## ■支払意思額の設定

プレアンケート調査		本アンケート調査	設定理由
提示額	選択者数	提示額	
		<b>30円/月</b>	<b>最大提示額の1/100</b>
50円/月	61人	50円/月	プレアンケート調査使用提示額
100円/月	121人	100円/月	プレアンケート調査使用提示額
200円/月	76人	200円/月	プレアンケート調査使用提示額
500円/月	31人	500円/月	プレアンケート調査使用提示額
1,000円/月	6人	1,000円/月	プレアンケート調査使用提示額
2,000円/月	5人	<b>2,000円/月</b>	プレアンケート調査使用提示額
		<b>3,000円/月</b>	<b>0-2km圏における回答結果の賛成率5%の2倍</b>
5,000円/月	0人		
10,000円/月	0人		

提示金額の範囲を  
**30～3,000円/月**  
として設定

## ■ゾーン別アンケート整理結果 (詳細) ※再掲

距離圏	支払意思額	整備後利用率	整備後利用頻度	事業認知度	事業重要度
0-2km	<b>380円/月</b>	81.1%	9.2回/年	<b>52.9%</b>	17.6%
2-4km	208円/月	<b>94.1%</b>	<b>17.3回/年</b>	27.0%	<b>29.7%</b>
4-6km	192円/月	87.5%	15.0回/年	29.4%	11.8%

## ■賛成率の結果

金額	賛成率
0.01円/月	100%
...	...
1,300円/月	5.22%
<b>1,347円/月</b>	<b>5.00%</b>
1,400円/月	4.78%
...	...

## 5 【CVM】本アンケート調査の結果(支払意思額)

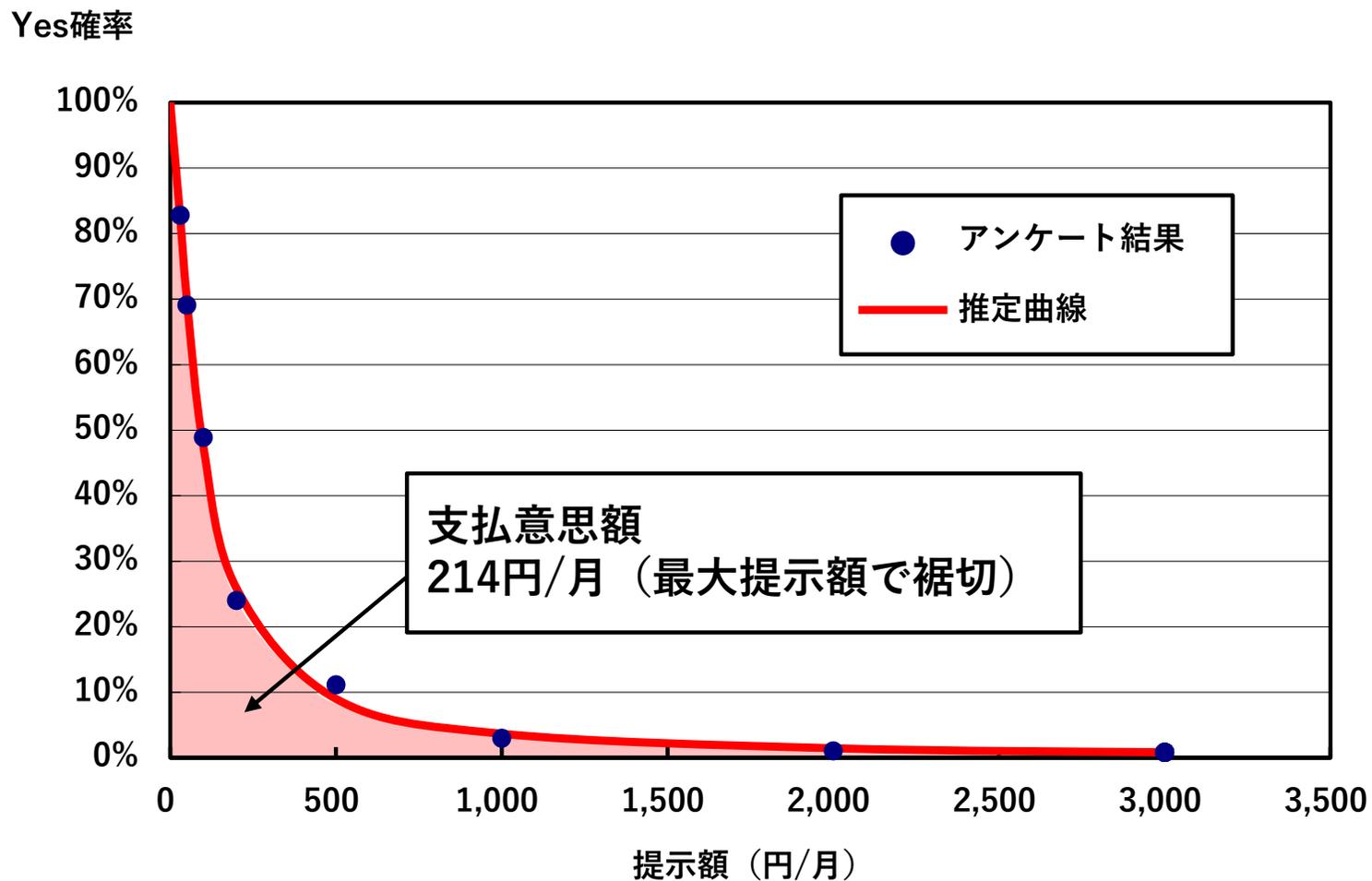
### ■本アンケート調査概要

項目	実施結果概要等
実施手法	WEBアンケート
実施期間	令和4年10月31日 ～11月3日
アンケート対象圏	4km圏
回収結果①	731票
有効回答数②	466票
有効回答率 ②/①	63.7%

### ■本アンケートでの提示額選択結果

月当たり 提示額	選択者数	累計該 当者数 ③	Yes確率 ③/②
3,000円	4人	4人	0.86%
2,000円	1人	5人	1.07%
1,000円	9人	14人	3.00%
500円	38人	52人	11.16%
200円	60人	112人	24.03%
100円	116人	228人	48.93%
50円	94人	322人	69.10%
30円	64人	386人	82.83%
0円	80人	466人	-

## 5 【CVM】 本アンケート調査の結果(便益の計測)



### 支払意思額の推定曲線

※栗山浩一 「Excel できるCVM Version4.0」 <http://kkuri.eco.coocan.jp/> より作成

## 5 【CVM】 本アンケート調査の結果(便益の計測)

### ■プロムナード単独の便益の計測

プロムナードは、本組合にて今後工事を行っていく護岸の上に整備され、令和5年度に整備が完了する堀止緑地と接続されるため、プロムナード単体の便益は、護岸の事業費と堀止緑地の事業費も含めて按分することで算出する。

$$\begin{aligned}\text{プロムナード事業費率} &= \frac{\text{プロムナード事業費}}{\text{プロムナード事業費} + \text{護岸事業費} + \text{堀止緑地事業費}} \times 100 \\ &= \frac{250\text{百万円}}{250\text{百万円} + 750\text{百万円} + 1,000\text{百万円}} \times 100 \\ &= 12.5\%\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\text{プロムナード支払意思額} &= 214\text{円/月} \times 12.5\% \div 26\text{円/月}\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\text{周辺地域環境の改善効果に対する便益} &= \text{プロムナード支払意思額} \times \text{受益世帯数 (4km圏)} \\ &= 26\text{円/月} \times 12\text{か月} \times 256,668\text{世帯} \div 80.1\text{百万円/年}\end{aligned}$$

# 7 費用対効果分析

## ■費用便益分析に用いる便益（割引前）

（単位：百万円）

項目	年あたり便益	供用期間内（50年）便益
周辺地域環境の改善効果に対する便益の計測【CVM】	80.1	4,005.0
残存価値（評価期間の最終年に計上）	-	-
	合計	4,005.0

## ■費用便益分析に用いる費用（割引前）

（単位：百万円）

項目	費用
総事業費（消費税抜き）	227.3
維持管理費 総事業費（消費税抜き）×0.5%×50年	56.8
	合計
	284.1

## 7 費用対効果分析

### ■費用便益分析に用いる便益および費用（現在価値化後）

- ・基準年度：令和4年度（2022年度）
- ・評価期間：建設期間+供用期間（施設の耐用年数より50年）
- ・社会的割引率：4.0%

（単位：百万円）

	項目	割引前	割引後
総便益	周辺地域環境の改善効果に対する便益の計測【CVM】	4,005.0	1,414.3
	合計	4,005.0	<b>1,414.3</b>
総費用	建設費	227.3	199.2
	維持管理費	56.8	20.0
	合計	284.1	<b>219.2</b>

## 7 費用対効果分析

### ■費用対効果分析結果

項目	金額・算出結果
総事業費（消費税込み）	250.0百万円
B：総便益（現在価値化後）	1,414.3百万円
C：総費用（現在価値化後）	219.2百万円
費用便益比（B/C）	6.5
EIRR	23.8%

## 8 対応及び方針

- 今回の新規事業評価における費用便益比B/Cは1.0以上

$$\underline{B/C = 6.5 \geq 1.0}$$

- 地域全体の魅力向上につなげられるよう拠点となる緑地やにぎわい施設が結ばれ、運河の魅力と回遊性が高まる。
- 憩いとにぎわいのある親水空間の形成が可能となる。



対応方針（原案）

事業を**開始**する。（**新規事業に着手**する。）